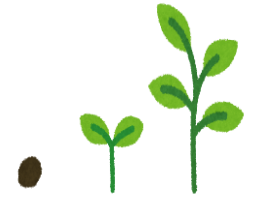
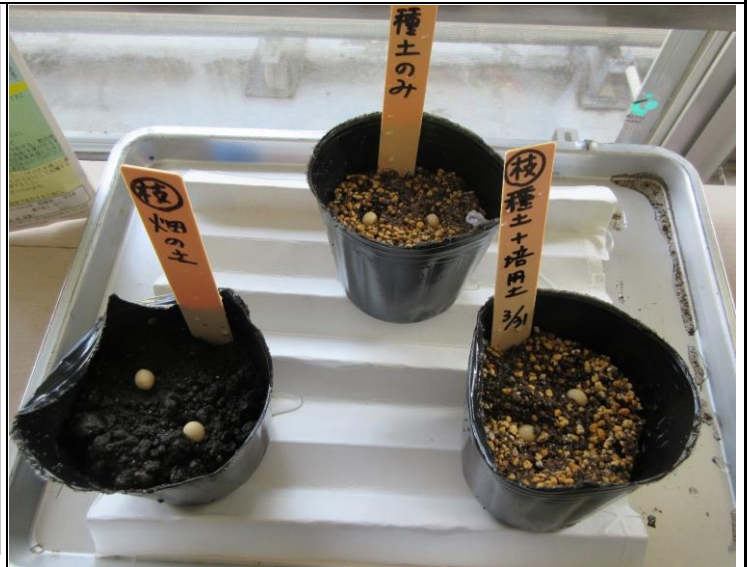




# 江戸東京野菜栽培記録 ～三河島枝豆編～



平成28年3月31日



三河島枝豆の種（大豆）は本校卒業生，江戸東京野菜コンサルジュ協会の上原恭子さんからいただきました。十分に水を吸わせた用土に第一関節くらいの穴をあけ，豆の割れ目を下にして2粒ずつ入れます。土は『畑の土』『種まき用土のみ』『種まき用土の下に培養土を半分』の3種類用意しました。どの土が一番生育の良い苗になるかを試して，委員会で栽培するときの参考にします。

平成28年4月4日



平成28年4月5日



4～5日経つと，豆が吸水して膨らみ，土の表面に見えてきました。豆の色が薄黄色から緑色に変わってきました。





平成28年4月7日



1週間経ちました。日に日に生長し、芽の長さは4cm位になりました。畑の土にまいた2粒のうち1粒は、芽が出ませんでした。それ以外は、土の種類による生長の差はないようです。

平成28年4月11日



平成28年4月13日



月曜日の朝、見てびっくり。土日の間に、ひよろひよろと茎が伸びていました。（茎が間延びして伸びることを「徒長」と言います。）カーテンを閉め切った部屋に置いたため、日照不足になったことが原因のようです。徒長した苗は、病気にかかりやすくなったり、暑さや寒さにも弱くなったりするそうです。ここからは、鉢に植え替えて外で育てることにしました。鳥よけのためにネットを被せました。

平成28年4月18日（委員会活動①）



鉢に植え替えた苗は、1本を除き順調に生長しています。委員会の時間には、全員で枝豆をポットに3粒ずつまきました。芽が出るまでは水やりをしないので、乾燥し過ぎないように半日陰に置いて様子を見ます。



平成28年5月2日



鉢植えの枝豆は、本葉が出てきました。  
ポットにまいた豆のうち、半分くらいが土から顔を出していて、もうすぐ双葉が出そうです。早く芽が出たものは、本葉が開きそうになっています。

平成28年5月9日（委員会②）

平成28年5月27日



ポットにまいた豆は、7割くらいが発芽しました。委員会の時間に畑に定植しました。一か所に2~3本ずつ植えることで、お互いに支えあい、倒れにくくなるそうです。（写真左）  
植えたときはひよろひよろでしたが、約3週間でしっかりと根を張り、本葉がたくさん出てきました。（写真右）

平成28年6月15日



茎の付け根に白い花がたくさん咲きました。（写真左）  
花が咲いた後には、白い毛に覆われた小さいさやができていました。（写真右）



平成28年6月24日

平成28年度7月11日（委員会④）



さやがたくさんつきました。中の豆がまだ膨らんでいないため、さやは平べったいです。  
(写真左)

豆が大きくなってぱんぱんに詰まっているものを選び、収穫しました。(写真右)